郷の集い

発行
新郷校愛護会文芸部
編集責任者
小西　誠
印刷所
久野印刷所

御協力を感謝します

会長　村田勘治

昨年より心配していた学校の国旗掲揚塔が強い南風のため腐つている所から折れてしまつた。早速脇谷先生が、副会長の吉江君に「学校に国旗掲揚塔が無いわけにはいかない。この際丈夫な鉄柱でできないだろうか。」と相談にかけつけた。吉江君が私の家にこられたので、それは大変だと思つて各部落の区長さんに寄つて頂いて協議した結果、東京で大きく商売をしている吉江さんに御願いしてみようと云う事になつた。

小学校時代から同級生で親友の仲である東組合長さんに御世話して頂こうと組合長さんに話したところ心良く吉江角雄さんに御願い状を出して下さつた。吉江さんから直ぐ返事が来て寄附致しましようと言う事になつた。

でき上る迄に一番御苦労願つたのは東組合長さんです。旗竿は、郡下に二つとないアルミの合金でできており、山口県の下関工場で造つて、神奈川県の工場で吟味して仕上げたもので、丈夫に錆びる心配もなく、おそらく半永久的な物と吉江さんも保証された程です。どうか吉江さんの意のある所を扱み取つて感謝の気持で国旗掲揚塔を仰いで頂きたいと思います。

次に七月中旬頃役員会をして、お願いをして造つて頂いた運動遊具は、生徒さん達は、朝から下校するまで手に豆ができる程喜んで使つていると校長先生から聞いています。うんと鍛えてますます元気な子供になつて下さい。これ全く校下の皆様の汗の結晶の賜物と深く感謝しています。

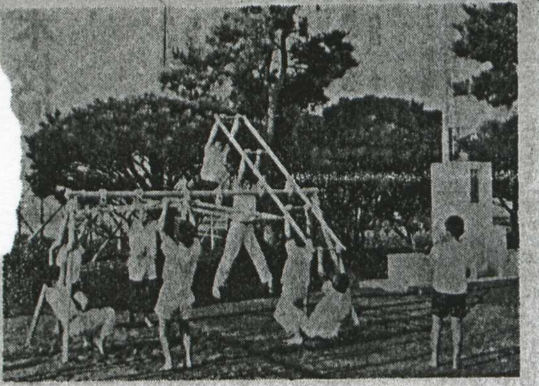
次に運動遊具の使用できない冬期間には学校図書館を充実して行きたいと老えています。この夏大変御苦労を願つた第一回の廃品回収の御金が弐万円、第二回目を冬休み前に御願いして見込み金壱万円、その外に別に少々使用出来得る金もありますので合せ、なるべく一冊でも多く購入して児童によませたいと思つています。

以上四月以来の重な行事の大要を御報告申し上げて校下の皆様の御協力に心から感謝申し上げると共に今後の御支援を御願い致します。

※　運動遊具会計報告

○会員割	六万円
○特別正会員割	弐万円
○新郷農業協同組合寄附金	五万円
○特別有志寄附	参万円
合計	拾六万円

※工事施行者
太陽スポーツ社（福井市）



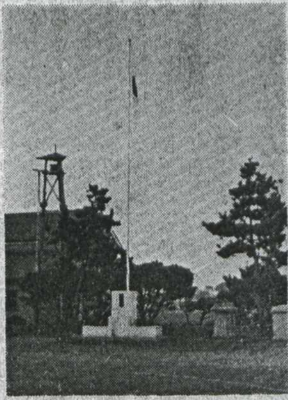
三連式シーソー

国旗掲揚塔並に屋外運動遊具竣工成る

秋晴れの新郷校庭に翩翻として日の丸の旗が風を受け、その下で楽しげに運動遊具に興じている児らの姿こそ、なんと美しく又、なんと誇らしげな姿でしよう。

この度、愛護会の皆様と校下有志の御芳志とにより所期の念願が叶えられ、去る九月九日午後一時半より町教育委員会より笹原教育長殿を始め、多数来賓の参列を得て、謹厳極る中にその竣工式を取り行うことが出来ました。

児童の健康増進に又、豊かな心情の養成に大いに期待出来るものと信じます。（東）



学校長式辞

秋晴れのきよう町教育長さんはじめ、多数の来賓をお迎えして、ここに、国旗掲揚塔並びに屋外運動遊具の竣工式を挙げ得ますことは、皆さんと共に私の最喜びとするところであります。

今度立派に出来上りましたこの国旗掲揚塔は、この学校を卒業された皆さんの先輩である吉江角雄さんが寄贈されたものであります

吉江さんは只今の河間の吉江宇平さんの家に生れたわけですが、高等小学校を卒業されると、百姓の弟として村におつても将来見込みがないから、東京に出て一旗揚げようと大きな希望を抱かれました。それから三十年間力一ぱい頑張られた結果、只今では三伸商店の社長さんにまで出世されたわけであります。この吉江さんの貴い努力のあとをよいお手本にしていただきたい意味で、「少年よ大志を抱け」、この題字をほりつけました。

この言葉は私が考えたのではなくて、一八七六年（今から八七年前）札幌農学校（只今の北海道大学）を創設された米国から来られた教育学者クラーク博士が日本の国を去る時に農学校の生徒にはなむけにして残していつた有名な言葉であります。この言葉は、皆さんの様な若い〳〵人達は自分の将来に大きな夢や希望を描いて、それを勝ち取るために、毎日〳〵がんばりなさいと云う励げましの意味だと思います。果して、その後北海道大学からは、内村鑑三、新渡戸稲三先生はじめ、たくさんの立派な人が出ました。どうか皆さんもこの国旗掲揚塔を仰ぐ度に、クラーク博士や、吉江角雄さんの事を思い出して、心も体も立派な人に育つてほしいと思います。

又これを建設するにつきましては、吉江さんと小学校時代から大変仲よしであつた東組合長さんをはじめPTAの正副会長さん、生家の吉江宇平さんに特別お世話になり、工事のことでは、林さんがこの辺にないデラックスなものを作ろうといろ〳〵見学工夫をされた結果、このような美しくて、丈夫な国旗掲揚塔が完成したのでありまして、これらの方々にも吉江角雄さんと併せて皆さんと共に、心からお礼申し上げたいと思います。

次にもう一つの皆さんの喜びは、皆さんの目前に見事に出来あがつた、たくさんの運動遊具であります。これは、皆さんのお父さんやお母さん、新郷農協その他有志の方々からの愛の贈物であります。どうかこれ等に方々の御恩をしつかと胸にしめて、運動遊具を大事に、上手に、使い、心身共に健康な新郷小学校の子供になつていただきたいと思います。

最後になつて恐縮ですが、本日御臨場下さいました来賓の方々をはじめ、全校下の皆様方に、本日二つの竣工式を挙行出来ますまでに御協力下さいました事について深甚の敬意と感謝の意を表して式辞といたします。

格言　正直の頭に神宿る

これは昔から日本に言い伝えられて来た諺である。日本の諺には表と裏があり、例えば「君子危きに近よらず」に対し、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」というような類であと考えればいろいろあるように思われる。そこで、この「正直……」の諺もその例にもれず「正直まっぽう屎たわけ」という言葉がある。近頃でも「正直者は馬鹿をみる。」などという言葉を耳にする。成程、悪徳者横行のこの世の中では、こつこつと働いているのは馬鹿々々しい事かもしれない。だからといって世の中のみんながみんな正直でなかつたらどうだろう。考えても身震いがする。いつか或刑事からこんな話をきいた事がある。「私はこの三十年間、日夜家をあけ妻子と共に行楽に出掛けた事もない。このままいけば一生平刑事で終るかもしれない。しかし世の中には、かごに乗る客もいればそれをかつぐ人もあり、又その草鞋をあんでいる人もいる。私はあえて、そのよい草鞋をあむ人になるつもりだ」と。むべなるかな……である。

〈山田〉

笹原教育長祝辞

新郷小学校といえば福井県でも或意味で、有名な学校になつています。それは学校が大きいということではなく、また設備が立派だからということでもありません。校下の方々が学校のことになると、どんな場合でも一つになつて、学校を盛り立てゝいる姿が、はたで見る目から如何にも立派だからであります。

校下の方々が総出で、或時は校庭を立派に、校舎の整備に、またある時は学校備品の充実に余念がないばかりでなく、一方には県下のトップを切つて設けられた母親学級は、県教育委員会から、表彰を受け、今も九七%の出席が続けられています。

これらの凡では、今此の学校で勉強している皆さんが、学校が楽しく、勉強がし易すく、他のどの学校にも負けないようにと、気を配つていて下さる証拠であります。私共芦原町の教育を預つている者の手ではどうしても行届かない点を、みんなこのようにして、校下の方々の手で片付けて頂いて居りますので、私からも町の教育委員会の名に於いて、校下の皆さんへ心からお礼を申上げなければなりません。

きようは、本校卒業の先輩の方の御寄附で、この辺ではどこにも見られないような立派な国旗掲揚柱が建てられ、校舎に映えて学校を一層厳粛に、そして美しく見せていますし、又何時の間にか、校下の愛護会の御寄附で幾つもの新らしい運動遊具が校庭のあちらこちらに設けられ、明日からの皆さんの教育が体も心も共に深められることでしよう。

たくましい体に胸を張つて、国旗を高らかに掲げ、それを仰ぎ見る紅顔頼母しい子等が、眉上げて立派な人となることを誓いまた校下の人達が、そんな子供の将来に胸を立鳴らせておられるお心の裡が見えるようで、私も襟を正して敬意を表さずにはおられません。

国は今人造り国造りということを政治の大きな目やすにしています。新郷校下の皆さんが、国の大きな目あてに添つて、学校を―部落を―町を―国を、と賢明な努力が続けられていますことと、皆さんの幸せを思い合せて、心からお祝い申上げる次第であります。

夜の歌

堀内敬三詩

とおき山に日は落ちて
星は空をちりばめぬ
きようのわざをなしおえて
心かろくやすらえば
風はすずしこのゆうべ
いざや、たのしきまどい・せん

本校児童の視力調査から

東　正雄

十月十日は、目の愛護デーであります。近年、児童生徒の近視が年々急増の傾向にあることが盛んに新聞紙上の話題となつて居ります。

目は心の窓であり、健康の指標である。いきいきと輝いた目、よく見える目は健康のシンボルであるとも言われて居ります。視力の一部でも失われれば正常な生活活動から遠ざけられる悲劇が生じ、ついに人生の落後者になるようなこともございます。

因に本校児童の視力調査の結果を御紹介して、皆様の御賢察を願いたいと存じます。

◎本校児童近視者数
男子（一五名）
女子（二一名）
全校児童の二五・七％にあたります。

◎本県の近視の率
小学生一六・三％（全国第三位）
中学生二四・七％（全国第四位）
高校生四六・三％（全国第一位）

本県は、まことにありがたくない順位になつていますが、本校は、これと比べてどうでしょうか。皆様、この統計からどのようにお思いでしょうか。本校の児童にどうして近視が多いのでしょう。どうか次のことがらに気をつけて下さい。

1.暗いへやのすみや寝ころんで書物を読むことのないよう注意しましょう。
2.食べ物に気をつけ、偏食をなくするよう気をつけましょう。
3.テレビを見る時は、暗いへやで見たり、近すぎるところでは見ないようにしましょう。
4.家の窓を多くして常に明るい所で生活するよう気をつけましょう。
5. 電灯の明るさは、部屋の広さに応じ、暗過ぎないよう気をつけましょう。

運動会に思う

北本堂　小西　誠

私の幼少時代は身体が頑健な方では無かつたので、体操はあまり得意ではなかつた。走る事や野球等というものは学校が進んでからも戦時下に入つた事にもよるが、全く縁がなく、柔道、劍道、射撃等といつたようなものは一とおりやらされた。中でも射撃は得意で京都の伏見射撃場で師団管下の大学高専の射撃大会で賞をもらつたことから考えてもあまり動き廻るスポーツは本来駄目なのかも知れない。従つて今でもスポーツはもつぱら見て楽しむ方である。

学校の運動会も、午後になると大人達の競技が大部分を占め、呼出しのスピーカーが喧噪になつてくるが、もつと児童の競技を多くして、児童中心の運動会として充実してもらいたいと思う。今迄のやり方にも、それなりの「良さ」はあると思うが子供達が大人達のあまり整然としない競技を眺めてはたして教育的な面で益するところがあるのだろうかと疑問に思う。

中浜　小島　昭夫

「花火から花火に暮れる運動会」新郷の運動会は何時も景気が良い。之だけでも運動会気分を盛りたてるものだ。花火は人を寄せる。だから新郷程、運動会に声援の多い学校はないと思つている。それも中生刈りの最中であるだけに意義がある。世の中は何もかもスピーデーになつた。私達が子供の頃は運動会と云えば、白山がもう白衣をまとつていた様に想う。それでガチ〳〵ふるえ乍らも万国旗を見上げては胸をはずませていたのを想い出す。一ケ月早くなりしかも中稲刈りの最中である。それでも重箱を下げて家中総ぐるみの応援は又なごやかなものである。

大人の競技に入ると一寸見おとりがする。いわゆるインチキがある。「飴食いならインチキがないから出る。」と云つてくれた連中に敬意を表したい。皆がその意気心構えでいたら堂々と子供の前ででも出来るのだが。

開会式センターポールに国旗が高々と上つた。あと三米、二米、その時耳をさかんばかりの花火の音、そのあとの静けさ、効果一二〇%の味があつた。

勤労奉仕雑感

副会長　西正喜代子

田の草取りも終つた夏の一日ＰＴＡ役員による勤労奉仕作業が行なわれた。男子役員は女子役員でできぬ仕事を、女子は校舎の窓ガラス拭き等と各々分担を決めてのわずか半日たらずの奉仕作業でありましたが、二学期には子供達が気持よく勉強できるのだと思うと畳を運ぶ手、まきを割る腕にも一層力が入るのです。少しでも気持よく健康な毎日が過せるような勉強の場を作つてやりたいと思う父兄の心は皆同じであろうと思います。癈品回収にしても、同じ意味が多分に有ると思います。

ただ毎年校庭の桜の木が一本ずつ消えて行くのがさびしく感じられます。これも給食の一端をになう事になるのだと思えば致しかたのない事かも知れませんが。

廃品回収利益

ボロ	9,240円
ドクロス	550円
本	8,008円
自転車	420円
ビン	721円
雑	1,061円
計	20,000円

歩け歩こう

心配された雨もようやくあがつた十月十日秋の遠足が実施された。

幼稚園、一、二年は校長先生等と一緒に三国の滝谷寺や新観光地として脚光を浴びている成田別院周辺へ。丘からの眺めが大変美しくエキゾチックな感じである。

三、四年は波松海岸へ、珍しい貝を拾集して意気揚々と帰校した。

五、六年は加戸とその周辺へ。植物採集を兼ねて出かけた。秋晴れの一日を思い切り歩いて来た。

〈竜田〉

家庭訪問に想う

河間　青木仲子

或る婦人雑誌に「子供の悪い性格が教育熱心な親によつて知らず知らずのうちに作られるとしたら、それは笑えない喜劇だろう……云々。」都会での例として、一、先生を白眼視する子。二、成績が低下して行く子。三、親や先生を馬鹿にする子。四、用事をしてくれない子。五、不平ばかり云う子。六、他人の悪口ばかり云う子。七、怠ける事ばかり考える子。の七つが書いてありました。

都会と農村では環境、その他、色々な条件は違うでしようが、母として相通ずる何かがありましたので此の記事をくり返し読んでいろいろ反省させられました。

子供を私有物として狭い視野から見る母の眼と、多くの児童の中から個性なり能力なりを発見し教育される先生方の見る眼との違いは自ら大きいものと思います。そうした違いを家庭訪問の折に話し合うのも良い方法だろうと思います。

先生―児童―父兄という一線でなく、各家庭のくつろいだ雰囲気の中で、子供や父兄の意見を聞いて頂くのも意義あるものと思います。学級懇談などで余り発言なさらない方も家庭訪問などで充分お話し合い出来る事でしよう。

教育にたずさわる先生方が、異句同音に「子供を見ればその家庭がわかる。」と申されます。その家庭を、子供をよりよくするためにも、家庭訪問を通じて各家庭を知つて頂きとうございます。

坂井郡母親と女教師の会に出席して

角屋　小木チエ子

突然学校より、八月二十六日に春江小学校で「母親と女教師の会があるから出席して下さい。」と云われ、始めて聞いた会なので、私のような者で…と不安でしたが、出席させていただきました。八時半、開会式なので八時十分前に学校につきましたが北島先生と二人きりで他の方々はおいでになりません。私達は第一分科会の名簿に記入し講堂に行きました。ところが九時になつても始まらず九時半近くになつてやつと始まりました。私はこれが教育者や子を育てる親のすることだろうかと情なく思いました。

分科会のテーマは「子供の実力を育てるには」で助言者は桑島先生でした。出席している五十人程のお母さん方は活潑に発言していました。

内容は
一、夏休みの宿題の出し方、やらせ方。
一、子供の個性を伸ばすにはどうしたらよいか。
一、日記の書かせ方、見方

助言者の先生は、良き判断力を育てるには、本を多く読ませることだ。読んだ後感想文を書かせることだと云つておられました。多くのおかあさん方が我が子に望んでいることは、勉強が出来るということのみでなく何よりも、良き判断力を持つ子、ねばり強い子、がんばる子でした。

十一時十五分に終つて後は「社会の動きと子供」という題で有田三樹男先生の講演がありましたが、私は稲刈りのため心残りがしましたが帰りました。

もつと多くの方々が出席し各分科会に分れて勉強できたらなあと思いました。そして学校にもどり話し合い意見を出し合つて少しでも母親として学ぶことが出来たら最高だと思いました今後一人でも多く出席して「良き母親」に近ずかせてもらいましよう。

二学期新役員決まる

◎児童会役員

会長	小西敏夫
副会長	重尾光広
書記	高橋和男

◎学級委員

一年	小島道隆 斉藤ひとみ
二年	山田正彦 小西貴子
三年	小西義治 高戸節美
四年	山本正実 北島峰子
五年	白崎竜司 野内美代子
六年	小西敏夫 重尾光広

がんばる新郷の子

▼相撲大会

秋晴れに恵まれた三日午後、波松小学校で開かれた相撲大会では、五、六年が参加し次の様な成績をあげた。

団体次勝　六年
個人二位六年小西敏雄君
〃　三位五年山本辰彦君

▼陸上競技記録会

小雨がぱらついた十四日午後、芦原中学で行われた陸上競技記録会にも五、六年が参加し以上の成績をおさめた。

四百メートルリレー
二位　五年　男子女子
三位　六年　男子
千メートル個人競技
二位六年村田秀行君
六位〃三上将二君

▼作文入選

芦原町より募集された〝公徳心に関する作文〟には

入選　一年吉江峰雄君
三年白崎順子さん
六年小西敏夫君

この三名の者は、十月十五日役場で行われた表彰式に出席しました。又佳作にも七名の者が入りました。

▼校内模型飛行機大会

二十一日の午後は絶好の天気に恵まれ、四年以上の児童が宮前の田んぼで、各自が丹精こめて製作した飛行機を秋空に向つてとばした。

一位四年吉江[illegible]治君
五年新川保洋君
六年篠崎勇治君

▼部内模型飛行機大会

五、六年共優勝!!

二日に行われた部内飛行機大会にも伝統の力をイカンなく発揮して優勝しさん然と輝やくカツプを手にした今後もこの輝やかしい伝統を守りたいものである。

▼秋の読書週間

十月二十七日から全国読書週間に入るので、本校でも十一月四日から、一週間いろいろな行事を計画した。十一日には読書感想文の発表会を開く予定です。（北島）

あとがき

秋の夜長のひと時、御一読の上御批評願えれば幸いです。

編集部